

# 航路標識の耐災害性強化対策(海水浸入防止対策、電源喪失対策、監視体制強化対策、信頼性向上対策)【国土交通省】

## 施策概要

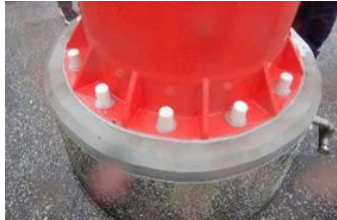
航路標識の基礎部や外壁等への海水浸入の遮断、予備電源の整備又は主電源の太陽電池化、航路標識の流出・消灯を起因とした二次被害(船舶事故)を防止するための監視装置の整備、航路標識に使用している機器等の災害に強い機器等への換装を実施

## 効果

災害時においても航路標識の機能を維持し、船舶交通の安全を確保

## 全国的な対策と効果

### 対策1 海水浸入防止対策



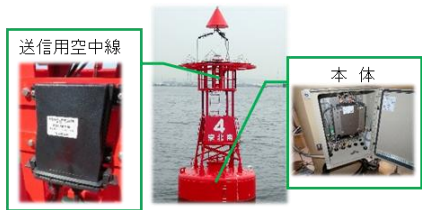
航路標識の基礎部等への海水浸入を遮断し、劣化・腐食を防ぎ、倒壊を防止

### 対策2 電源喪失対策



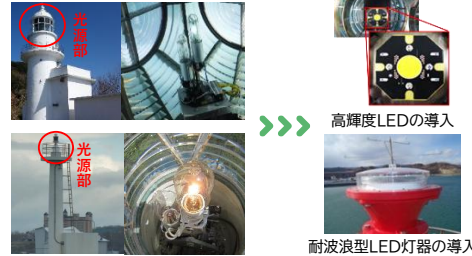
予備電源の整備又は主電源の太陽電池装置化により、停電時の灯台の消灯を防止

### 対策3 監視体制強化対策



クラウド監視装置を航路標識に設置し、航路標識の異常(消灯、移動、流出等)を把握

### 対策4 信頼性向上対策



高輝度LEDの導入  
耐波浪型LED灯器の導入

航路標識の整備状況(※令和7年度末までに整備が完了または実施が決定している箇所数)

| 管区 | 海水浸入防止対策 | 電源喪失対策 | 監視体制強化対策 | 信頼性向上対策 |
|----|----------|--------|----------|---------|
| 合計 | 131      | 72     | 742      | 499     |

#### ●「航路標識」とは?

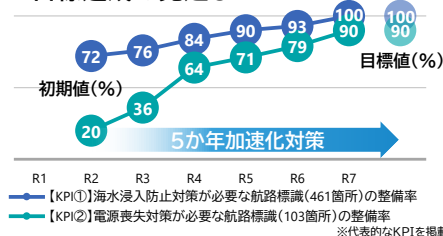
灯光、形象、彩色、音響、電波等の手段により港、湾、海峡その他の日本国の沿岸水域を航行する船舶の指標とするための灯台、灯標、立標、浮標、霧信号所、無線方位信号所などの施設

## ■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

| R3   | R4    | R5   |
|------|-------|------|
| 11億円 | -     | 20億円 |
| R6   | R7    | 累計   |
| 2億円  | 0.9億円 | 33億円 |

※ 予算額(国費)(加速化・深化分)は、対策番号63-(1)、63-(2)、63-(3)、63-(4)の合計額を記載  
※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

## ■ 目標達成の見通し



## 効果発揮事例

# 灯台の自立型電源等の整備により、消灯を防止し船舶交通の安全を守る



国土交通省 海上保安庁



鹿児島県薩摩川内市



船舶交通安全基盤整備事業

## ■ 中甕導流堤西灯台のLED化



## ■ 事業費

0.03億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.03億円)

## ■ 事業の背景(地域の課題)

中甕導流堤西灯台は、上甕島にある中甕漁港の入り口を明示するために設置された灯台です。灯台が消灯すると、夜間、船舶が港の入り口把握が困難になり、安全に船舶が航行することができず、島民生活に影響を及ぼす可能性があることから、台風等においても安定的に灯台機能を維持することが課題となっていました。

## ■ 事業の内容

台風等の影響による灯台の消灯被害等を防止するため、灯台の光源のLED化、電源の太陽電池化をすとも、電力線路撤去等を実施しました。



## ■ 効果

令和4年台風第14号では、暴風を伴う波浪(近傍海域で最大波高約6メートル)を観測しましたが、波浪によるLED灯器の損壊や消灯被害を防止し、灯台機能を維持しました。

(1) 人命・財産の被害最小化

(2) 交通・ライフラインの維持

(1) 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) インフラの老朽化対策